

今後の議論における主な論点（案）

1 ポストコロナ期の「これからの公共施設の姿」

- ・ 現段階では、これからの公共施設の姿として、「手続きの場としての役割は縮小する一方、協働を支える交流の場としての役割が拡大していくのではないか」（第1回資料5-1P7）と仮定している。
- ・ 他方、デジタル化の進展によりオンライン上の交流も活発化してきている。
- ・ リアルな場としての公共施設の役割は何か。
- ・ 身近な自治会の公会堂との役割分担はどうあるべきか。

2 施設毎の再配置計画

- ・ 掛川市公共施設再配置方針（R1）では、最終評価として施設毎の再配置検討の方向性と再配置検討の時期を設定していくとされている。
 - 再配置検討の方向性…継続、統合、複合化、減築、廃止、譲渡
 - 再配置検討の時期
 - I期：2025～2028年度
 - II期：2029～2038年度
 - III期：2039～2048年度
 - IV期：2049～2058年度
 - V期：2059～2068年度
- ・ 再配置計画で設定すべき項目は上記でよいか。
- ・ 個々の施設の再配置検討の方向性と時期が妥当か。

3 跡地利活用の基本方針

- ・ 跡地利活用の方向性を、どの程度の具体的に明記することが適当であるか。
- ・ 跡地利活用の実現化を図るために、利活用手法、地域住民との対話プロセス、その他等、必要な記載事項は。
- ・ 視察等の必要性があるか。

4 その他

- ・ 計画を着実に実行していくために、計画の推進についてまとめる章を設けたい。
- ・ 具体的に、再配置の推進体制の構築、市民・住民との合意形成、進行管理等について明記したい。その他に必要と思われることがあるか。